

社会資本総合整備計画(地域住宅支援)

おおだてじょうかまち ちく まち かんきょうせいび だい き
大館城下町地区街なみ環境整備(第2期)

あきたけん おおだてし
秋田県 大館市

令和6年12月変更

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和04年01月18日

計画の名称	大館城下町地区街なみ環境整備（第2期）												
計画の期間	令和04年度 ~ 令和08年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	大館市												
計画の目標	大館城下町に残る歴史と伝統を反映した人々の活動と歴史的建造物を守り、その周辺の良好な環境と景観を一体的に形成することにより、さらなるまちなみの魅力向上を図る。 歴史や文化を活かした活力あるまちづくりにより、歴史的風致の価値を高めるとともに、地域活性化や交流人口の拡大を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	374	A	304	B	0	C	70	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	18.71	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R4当初	R6末	R8末
1	大館城下の町割りに残る歴史的建造物の保全や良好な景観を形成することにより、地区への誇りと愛着が育まれ、定住人口の堅持が期待できる。 大館城下町地区の定住人口の年間減少率の緩和 H29～R3平均減少率(-2.0%)から-0.4%の緩和、R4当初(-2.0%,3,785人)、R8末(-1.6%,3,490人)	3785人	3584人	3490人
2	大館城址周辺の環境整備や道路を美化することにより、来街者のまち歩きの推進が図られるとともに、大館城本丸跡に隣接する歴史的建造物桜櫓館の施設利用件数の増加が期待できる。 大館城本丸跡に隣接する桜櫓館の施設利用件数 R3施設利用実績(24回)から150%の増加、R4当初(24回/年)、R8末(36回/年)	24回/年	30回/年	36回/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	大館市	直接	大館市	-	-	大館城下町地区街なみ環境整備事業	道路の美装化、電線類占用物件統合、城下町名標柱整備等 面積：151.6ha	大館市						267	1.78	-
	A16-002	住宅	一般	大館市	間接	個人	-	-	大館城下町地区街なみ環境整備事業	歴史的風致形成建造物整備2件、修景施設20件	大館市						37	1.78	-
											小計						304		
											合計						304		

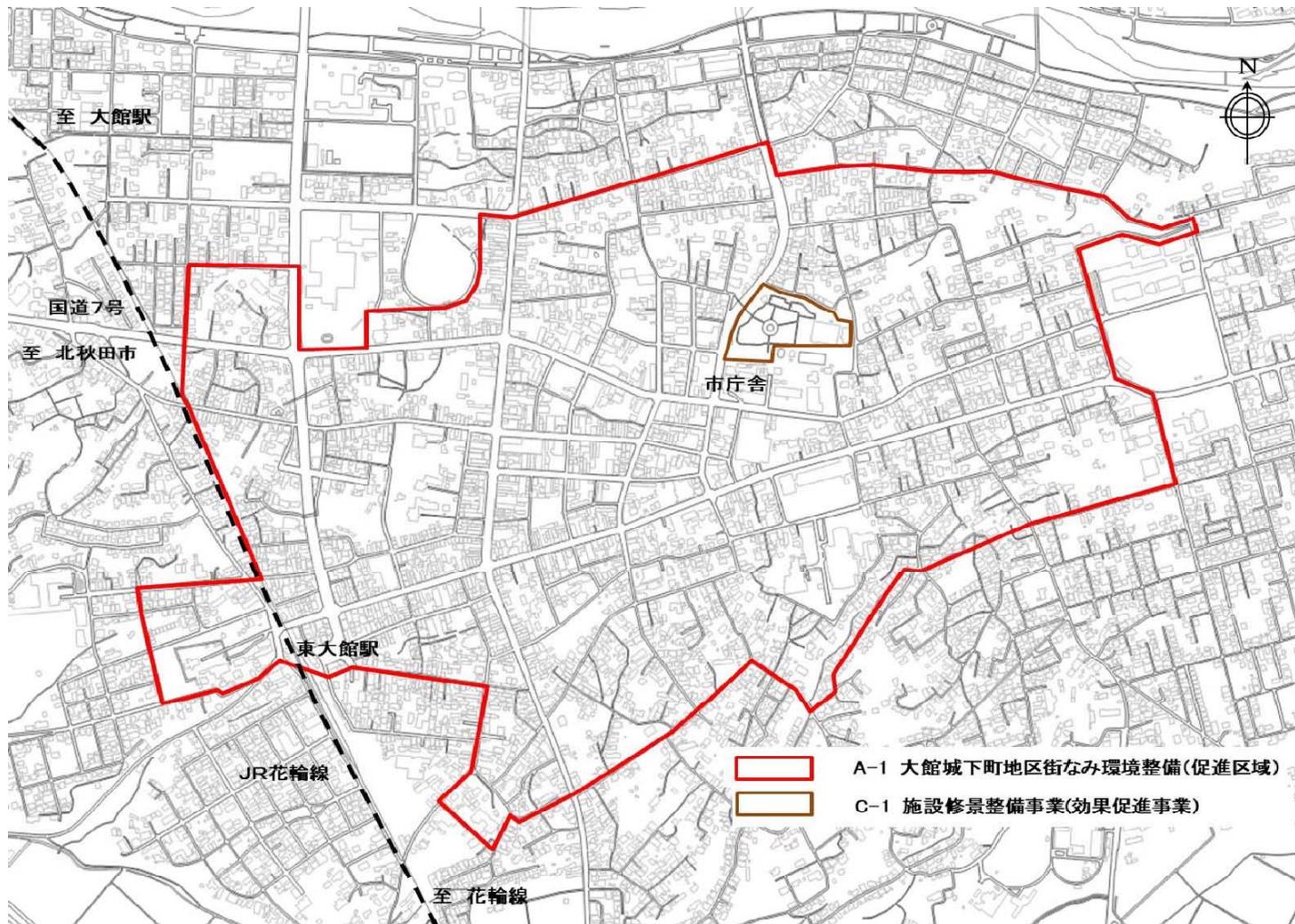
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04	R05			
配分額 (a)	47	41			
計画別流用増 減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	47	41			
前年度からの繰越額 (d)	10	11			
支払済額 (e)	46	19			
翌年度繰越額 (f)	11	33			
うち未契約繰越額(g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

参考図面(社会資本整備総合交付金)

計画の名称	大館城下町地区街なみ環境整備(第2期)		
計画の期間	令和4年度 ~ 令和8年度 (5年間)	交付対象	大館市



① 目標の妥当性	
・上位計画との整合性	○
<p>大館市都市計画マスタープランでは、城下町地区には現在も行政施設や公共施設が立地し、利便性の高い市街地を形成していることから、城下町地区の将来像として、にぎわい交流拠点に位置付け、大館を代表する祭文化の継承や、歴史的まちなみの保全・創出などの構想を定めている。</p> <p>また、大館市歴史的風致維持向上計画（平成29年3月17日認定）では、城下町を中心とする市街地を重点区域に設定し、構想を実現するために、本市固有の自然や歴史、文化などの豊かな地域資源を活用し、市民が誇りを持てるまちづくりを推進することとしており、整合している。</p>	
・地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性）	○
<p>城下町がある市中心部では、空き家の増加や商店の閉鎖により空洞化が進んでいるため、商業と居住機能の総合的な回復が必要となっている。また、担い手不足による祭礼の簡略化や活動の継続が危惧されている。</p> <p>こうした課題を踏まえ、城下町に残る歴史と伝統を反映した人々の活動と歴史的建造物を守り、その周辺の良い環境と景観を一体的に形成することにより、地区外から魅力ある城下町を訪れたり、定住する機会が増え地域活性化が図られる計画となっており、適合している。</p>	
② 整備計画の効果・効率性	
・整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
<p>歴史的建造物の保全や良好な景観を整備することにより、城下町地区に誇りと愛着が育まれることから、地区内の定住人口の堅持が図られる。</p> <p>歴史や文化を活かした活力あるまちづくりにより、歴史的風致が高められ、地域活性化や交流人口の拡大が期待される。</p> <p>以上のことから、整備計画の目標の達成度を図る指標として、「大館城下町地区の定住人口の年間減少率の緩和」と「大館城本丸跡に隣接する歴史的風致形成建造物桜櫓館の施設利用件数の増加」を設定した。</p>	
・定量的指標の明瞭性	○
<p>二つの指標について、測定する範囲や施設が明確であること、また数値化が容易なため、事後評価においても同条件で測定することが可能である。</p>	
・目標と事業内容の整合性	○
<p>基幹事業において、城下町に残る歴史的建造物の保全や歴史的建造物を結ぶ道路の美装化を行うことにより、さらなる城下町の魅力向上を図る。</p> <p>これらを一体的に整備することにより、先人から受け継がれてきた歴史的風致を維持向上することが可能となるとともに、交流人口の拡大が図られる。</p>	
・事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
<p>歴史的建造物の保全により、貴重な資源を次世代へ継承することが可能となる。また、建造物の一般公開により、見学者などの増加につながるとともに、建造物への理解が高まる。</p> <p>大館城本丸跡や大館神明社の環境整備により、伝統行事や歴史的資産などにふれる環境が整い、認識向上が図られる。</p>	
③ 整備計画の実現可能性	
・円滑な事業執行の環境（住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）	○
<p>大館市歴史的風致維持向上計画の策定にあたり、事業計画は市の広報やホームページに掲載したほか、地区座談会を開催し、市民への周知に努めてきた。また、意見募集（パブリックコメント）を実施し、いただいたご意見に対して市の考え方を公表した。</p> <p>引き続き、市民と一体となって、城下町の風情が感じられるまちづくりの方針に基づき、良好な景観形成に取り組んでいく予定である。</p>	
・地元の機運（市民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	○
<p>大館城下の町割りに残る歴史的建造物の保全や大館城址周辺の景観などの整備は、市民からの要望が高い。また、大館市歴史的風致維持向上計画策定の取り組みにより、歴史と文化を活かしたまちづくりに対する機運が高まっている。</p> <p>ハード整備と合わせて、市民と一体となり、まち歩きマップの作成や歴史案内人の育成などのソフト事業に取り組み、着実に具体化方策を積み重ねていく。</p>	

街なみ環境整備方針説明書

都道府県名		秋田県	市町村名		大館市	地区名		大館城下町地区
区域現況	地区の現況		<p>本地区は、江戸時代初期に大館佐竹氏により城下町として成立し、明治以降、鉱山開発や秋田杉の豊かな森林資源によって繁栄した。</p> <p>昭和に入り、市制施行後4度の大火が発生したが、これを免れた城下町の東側には、重要文化財の大館八幡神社と登録有形文化財の桜櫓館がある。また、町割りにより配置された寺社が元の位置にあるとともに、城下町に由来する町名が数多く残っている。</p>					
	道路の現況		<p>大館市は、秋田・青森・岩手県の結節点に位置する交通の要衝である。広域的な道路網は、市内中心部を国道7号が北西に通り、国道103号が南東に通過している。また、市の北東部には、日本海沿岸東北自動車道が開通し東北縦貫自動車道と小坂JCTで連結している。</p> <p>大館城本丸跡周辺には城下町特有の細い道や鉤型の道路が随所に残っている。一方、文化財を結ぶ道路には歩道が無く、路肩の電柱等が歩行の支障となっている。歴史的建造物を巡るまち歩きの回遊性を向上させるため、周辺環境と調和した空間づくりが求められている。</p>					
	公園等の現況		<p>大館城本丸跡では、天然記念物の秋田犬や比内鶏の展示会が毎年開催され、賑わいの拠点となっている。城跡の名残がある堀や土塁を大切にし、市民が誇りを持てる城址とする整備が求められている。</p> <p>また、大館神明社の境内や寺町周辺の歴史的建造物の庭園は、市街地に残る貴重な緑地であり、市民に潤いや安らぎを与えている。</p>					
	地区住民のまちづくり活動の概要		<p>平成26年度に「大館まちゼミ実行委員会」を立ち上げ、地元の商工会議所や商店街振興組合などが講師となり、市民参画型のゼミナールを開催し、地区のまちなみとまちづくりを学べる活動を続けている。</p>					
地区の整備に関する基本計画	整備の目標		<p>先人から受け継がれてきた大館城下町に残る歴史と伝統を反映した人々の活動と歴史的建造物を守り、その周辺の良い環境と景観を一体的に形成することにより、城下町地区に誇りと愛着が育まれるとともに、地区内の定住人口の堅持を目指す。</p> <p>また、大館市歴史的風致維持向上計画（平成29年3月17日認定）に基づく歴史や文化を活かしたまちづくりにより、歴史的風致の価値を高めるとともに、地域活性化や交流人口の拡大を目指す。</p>					
	整備の時期		平成29年度～令和8年度（第1期：H29～R3年度、第2期：R4～R8年度）					
	基整備地区基本事項に施す等の	道路・通路等	<p>大館城本丸跡から大館八幡神社までの道路は、歩道が未整備なため、電柱・電線類の占有物件の統合や路側帯のカラー舗装整備により、安全安心な歩行者空間を確保する。</p> <p>また、町割りに残る道路の美化化により、周辺環境と調和した空間を構築し、歴史的建造物を巡るまち歩きの回遊性向上を図る。</p>					
		小公園等	<p>大館神明社の例祭では各講の山車が、参拝のため集結することから、周辺から出入りする環境を整えるとともに、山車のスムーズな運行と来訪者が安全に観覧できるように、駐車場を兼ねた広場を整備する。</p> <p>また、境内には石碑や記念碑などが多数存在することから、市民や来訪者が周遊できる散策路を整備してその活用を図る。</p>					
	事に住宅等に関する基本備	住宅	<p>地区の歴史的風致形成建造物の保全を進めるとともに、景観づくりのため、今後は市民と一体となって、一定の方針を設定し、統一感があり、歴史的雰囲気が感じられるまちづくりを目指す。</p>					
		敷地	<p>地区の歴史的建造物や周辺環境と調和した景観づくりを進めるため、市民と一体となって塀や垣根などの修景整備を目指す。</p>					
その他の事項		<p>歴史的風致と一体となった良好なまちなみ景観を維持し、後世に継承するために、今後は景観行政団体へ移行し、景観法に基づく景観計画の策定と景観条例の制定を目指すとともに、地区内における良好な景観形成に取り組んでいく。</p>						

区域現況表

街なみ環境整備促進区域の名称

大館城下町地区

街なみ環境整備促進区域の所在地

大館市桂城、金坂、赤館、部垂町、桜町、向町、
一心町、谷地町、長倉町、愛宕町、古川町、大下町、
田町、末広町、弁天町、大正町、新富町、大町、
寺町、常盤木町、昭和町、神明町、東新、南町、
新町、中町、馬喰町、仲見世

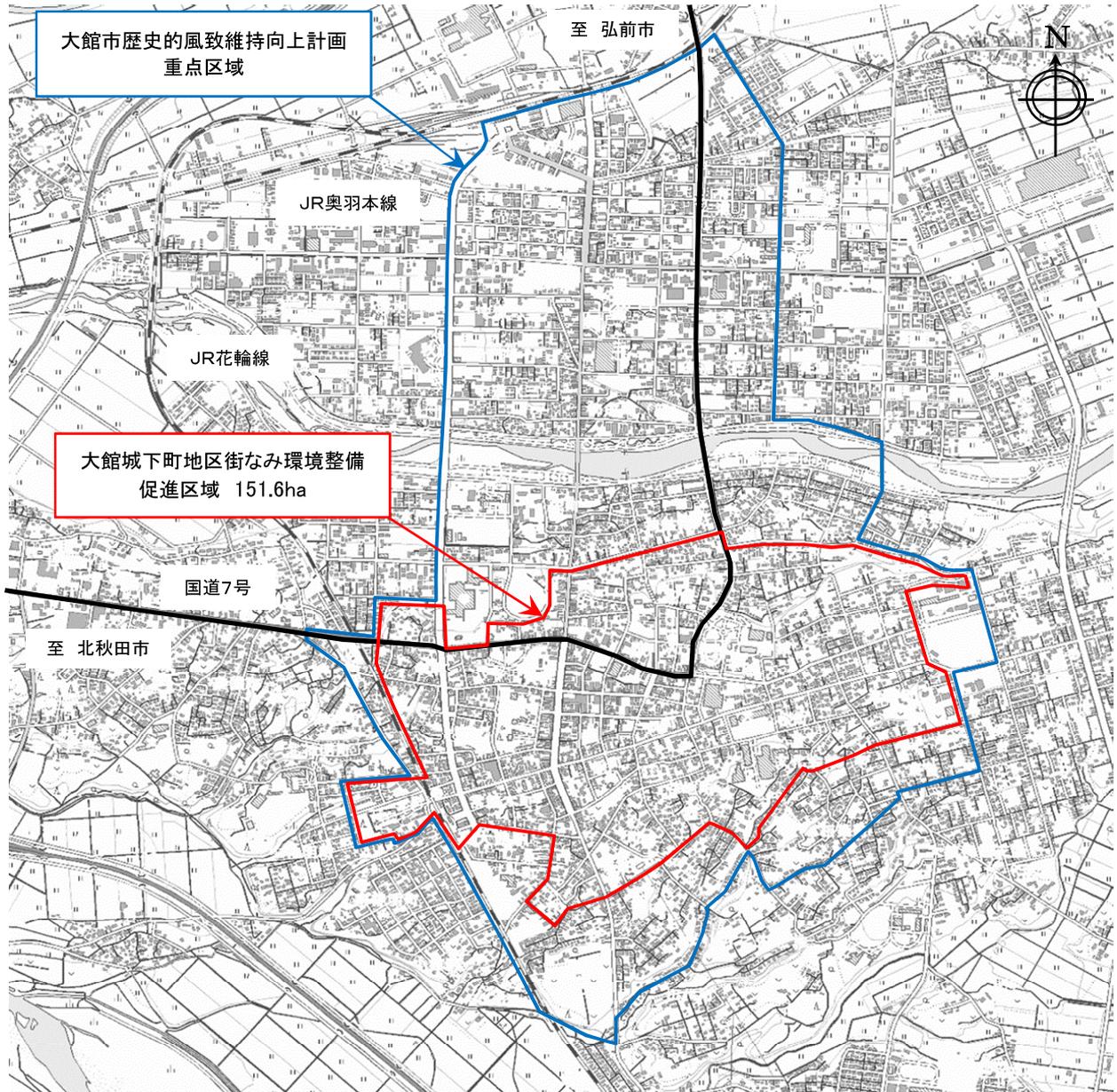
【位置図】

区域名	大館城下町地区
-----	---------



【区域図】

区域名	大館城下町地区
-----	---------



 街なみ環境整備促進区域 151.6ha

街なみ環境整備促進区域の所在
大館市桂城、金坂、赤館、部垂町、桜町、向町、
一心町、谷地町、長倉町、愛宕町、古川町、
大下町、田町、末広町、弁天町、大正町、新富町、
大町、寺町、常盤木町、昭和町、神明町、東新、
南町、新町、中町、馬喰町、仲見世

大館城下町地区街なみ環境整備計画 (整備方針図)

寺町・料亭周辺及び神明地区の道路美装化 (公共施設の修景整備) H29~R8
 寺町周辺建造物(蓮荘寺・浄心寺・玉林寺)、料亭が建ち並び桜並木通り及び大館神明社曳山車格納庫に通じる道路の美装化により、周辺環境に調和した空間を構築します。

三ノ丸地区駐車場の整備 (効果促進事業) R1
 駐車場整備により、歴史的建造物の回遊拠点ならびに秋田大会館やローズガーデンの駐車場として、地区住民や来訪者の歴史的資源へのアクセスの向上を図ります。

上町~三ノ丸地区周辺の道路美装化 (公共施設の修景整備) H30~R8
 八幡神社~桜櫓館~城址公園(桂城公園)~愛宕神社までを繋ぐ道路の美装化により、歴史的建造物を巡るまち歩き回遊性向上を図ります。

大館城本丸跡の修景整備 (効果促進事業) R3~R8
 新庁舎との調和や景観の一体化を図るため、お堀や土塁を含めた大館城本丸跡の修景整備を実施し、城址にふさわしい景観形成を目指します。



大館城の面影が残る堀と土塁



大館城跡で開催の秋田犬本部展覧会



三ノ丸地区駐車場整備完成 (効果促進事業)

A. 寺町・神明地区 34.0ha

B. 三ノ丸・大町地区 36.8ha

C. 八幡町・部垂町地区 39.8ha

街なみ環境整備促進区域 151.6ha



桜並木通り(幸町地区) 植樹帯・路側側溝・街路樹整備 電線類統合・路面美装化完成

大館神明社本殿の補修 (歴史的風致形成建造物整備 / 民間助成) H29~R4
 歴史的風致に掲げる大館神明社を歴史的風致形成建造物に指定し、建造物への影響を防ぐため、本殿の基礎及び玉垣の改修により、歴史的建造物の適切な維持を図ります。



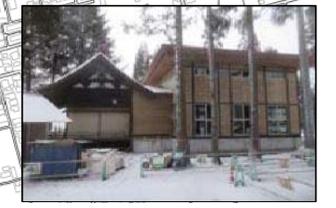
大館神明社(手水舎改修・曳山車通路完成)

大館神明社周辺環境整備 (歴史的風致形成建造物整備 / 民間助成) H29~R4
 例祭には各講の山車が曳き手とともに大勢訪れるため、待機場所となる駐車場を兼ねた広場を整備します。また境内にある歴史的資産を散策できる通路などを整備します。

城下町名・歴史的建造物標柱設置 (公共施設修景整備) H30~R8
 城下町の名残がある町名の由来を把握できる標柱を設置し、城下町の町割りや歴史的建造物を巡るまち歩き回遊性向上を図ります。またQRコードから多言語翻訳や資料などの情報を提供します。

- 整備箇所凡例
- 道路の美装化
 - 電線・電柱等の占用物件統合
 - 歴史的風致形成建造物の保全
 - 歴史的風致形成建造物の保全と一体となる施設整備
 - 公園施設の修景整備(効果促進)
 - 地区駐車場の整備(効果促進)
 - 城下町名・建造物標柱設置
- ※地区内で建物等修景助成を実施予定

八幡神社拝殿・幣殿の保存補修 (歴史的風致形成建造物整備 / 民間助成) H29~R1
 重要文化財を保護する覆屋の改修にあわせ、拝殿、幣殿を歴史的風致形成建造物に指定し、老朽化している建造物の保存補修



八幡神社(覆屋建替工事完成)

桜櫓館(国登録有形文化財)の保存補修 (歴史的風致形成建造物整備) H29~R3
 個人で所有管理しています桜櫓館を歴史的風致形成建造物に指定し、市が買取後、老朽化している建造物の保存補修を



大館城下町名標柱(三ノ丸) どこでも博物館連携



桜櫓館(耐震改修工事完成) 令和3年4月から公開・貸館を再開